

わかやま産業イノベーション※構想の概要

長引く景気低迷からようやく抜け出そうとしている日本経済。しかし、和歌山県は依然として厳しい経済情勢の中にあります。

こうした状況にあって古い殻を破って新しい芽を出そうとしている事業者も増えています。そこで、県では新法人（財）わかやま産業振興財団とともに“やる気ある企業”の経営革新や新事業の創出を支援する「わかやま産業イノベーション構想」を進めています。

中小企業4万6千社を有する本県経済にとって、その革新的・創造的経営から生み出されてくる新しい“芽”を育てることは、持続的な発展を可能にし、雇用機会の創出・確保につながっていきます。

さらに、次世代の県経済を牽引する産業や企業を創出させ、めまぐるしく変化する経済環境に対応できる産業構造への転換を目指しています。

新たな取り組みに挑戦するやる気ある企業を



※イノベーション
技術革新、新機軸のことで、過去にとらわれない新たな取り組みをいう

中小企業支援特集

企業の新しい芽を育てます！！

やる気ある企業を支援〔わかやま産業イノベーション構想〕

。わが県は、この構想を推進し、企業を支援し、成長を促す。わが県は、この構想を推進し、企業を支援し、成長を促す。わが県は、この構想を推進し、企業を支援し、成長を促す。



やる気ある企業を どんどん支援

【わかやま産業イノベーション構想】

中小企業
支援特集

企業の発展・成長!!

やる気ある企業

新商品、新サービスを開発しようとする企業
技術革新・経営革新をめざす企業
有力な技術、ビジネスモデルを持つ企業

に各段階で必要な 支援を実施

第二創業

●**ビジネス評価支援資金** 県
ベンチャー企業、第2創業に取り組む中小企業への金融支援
(融資利率1.6% 1億円まで)

発展段階

●**専門的展示会出展補助** 財
専門的展示会への出展に要する経費を補助(補助率1/2以内 15万円以内 6月募集)
●**事業化可能性調査** 財
新商品・新サービスの市場調査(200万円以内 7月募集)
●**雇用創造対策資金** 県
新卒者3人以上を雇用する中小企業への金融支援(融資利率1.4%1億円まで)

事業化

●**再生支援資金** 県
再生支援協議会の支援決定により事業再生に取り組む中小企業への金融支援
(融資利率1.6% 1億円まで)

スタートアップ

●**SOHO事業者育成支援** 県
オフィスを安価に提供することにより起業を志す方の立ち上がりを支援(年度末に募集)

構想準備

●**新事業展開やる気支援** 県
海外向け高付加価値商品やリサイクル製品、世界遺産関連製品の開発で新事業の展開を図ろうとする企業を支援
(補助率1/2以内 50~500万円 6~7月に募集)

●**大学発ベンチャー支援** 県
大学等の研究者や大学生の創業を支援(補助率2/3又は、10/10以内 300万円まで 6月末まで募集)

アイデア

●**イノベーションプラン・コンテスト** 財
技術革新・経営革新を促進するビジネスプランを募集し、優秀プランを表彰し事業化を支援(最高賞品100万円 7~8月に募集)

支援の仕組みが 変わりました

受動から能動へ

企業プロデュース

儲かる仕組みの構築

専門家チームが企業の経営革新・第二創業・新製品開発、販路開拓等企業のビジネスプランの実現に向けいっしょに考えます。

元気でやる気ある企業の掘り起こし

- 県内中小企業4万6千社の中から800社を診断
- 企業カルテを作成し、支援

支援体制が変わりました

県庁 ▶ さらに便利に **産業支援課**を経済センターに新設

→ 融資・技術・新事業といった相談窓口を一本化

財団 ▶ 6/1 新法人(財)わかやま産業振興財団が誕生

→ テクノ振興財団と中小企業振興公社が統合
総合的な支援体制を充実し、企業感覚に近づける

- 経営・技術の各支援部門に民間人を登用
- 経営革新計画の事前評価を実施

利用者の ワンストップ サービスを実現

経済センターに窓口を集中・一体化することで、経営・創業・販路・金融といった各種相談を一度に受けられます。



産学官民交流ルーム ジョイナスプラザ“輝集”

産業支援情報や大学の研究情報を収集・発信しています

場所: 県経済センター1階
日時: 月~金曜日 10:00~18:00
☎073-402-2880

ご利用
ください



アイデアを商品に できました。

(株)きたかわ商店
内藤和起 さん

あんこ製造と和菓子販売を行っていますが、ある時、今まで捨てていた煮汁や小豆皮の廃物から健康に良いモノができない

かなって考えました。漠然とした夢みたいな考えだったので、具体的に何をどうしたらいいのかわからなかった。そんなときに県庁で相談にのってもらい、大学での成分分析やマウス実験など助成金をいただきながら、研究開発を行いました。また、設備投資や文献調査も行って、ついに商品化の目途がたちました。創造法や経営革新法の認定も受けたこの小豆の健康食品は、今までになかった取引先を集団見合いの形で紹介してもらった機会にも恵まれ、取引の話をいただくまでになりました。今は先人の知恵として利用されてきた小豆を現代のライフスタイルの中にうまくあうものにしていくと毎日頑張っています。

気軽にご相談ください

問い合わせ 県庁産業支援課 ☎073-435-2567・2568 / (財)わかやま産業振興財団 ☎073-432-3412

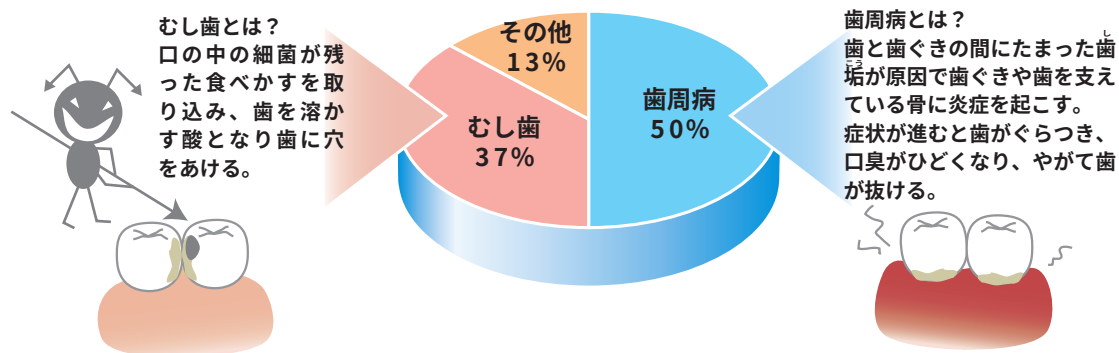
生活習慣を見直し、 歯を大切にしよう！

聞き慣れた言葉ですが皆さんはどうですか？大切にしていますか？歯は、食べたり、話したり、そして表情をつくったり、荷物を運ぶ時にくいしばったりと生活の中で大切な役割を果たしています。ところが、口の中はいつもむし菌や歯周病のもととなる細菌にさらされており、歯を失う危険と隣り合わせです。

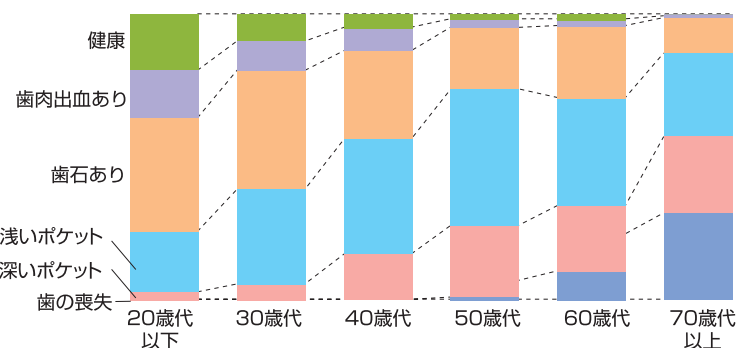
「毎日、歯みがきをしているから大丈夫」と思っていると大変。現在、毎日歯を磨く人は95%を超えていますが、依然として多くの人がむし菌になっており、成人の大半が歯周病であるという驚くべき結果が報告されています。「磨いている」ことに安心するのではなく、「磨けているか」に注意することが大切です。歯磨き習慣も含めた日々の生活習慣を見直し、歯に良い生活をはじめましょう。



歯を失う原因 (Peltonらによる)



口の中の健康状態 (平成9～11年 県歯周疾患検診モデル事業から)



生活習慣を見直そう

歯の手入れ

- ・毎食後と寝る前に
- ・1回について3分以上



食生活

- ・間食をしない
- ・栄養バランスの整った食事を
- ・良くかんで

子どもの歯を守るために

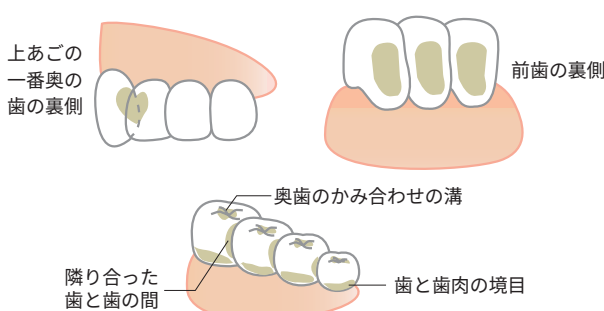
- ・規則正しい食事の時間
- ・保護者による仕上げみがき
- ・フッ素入り歯みがき剤の使用

その他

- ・たばこをやめる
- ・歯ぎしりや歯をくいしばるくせを直す



磨き残しの多い場所



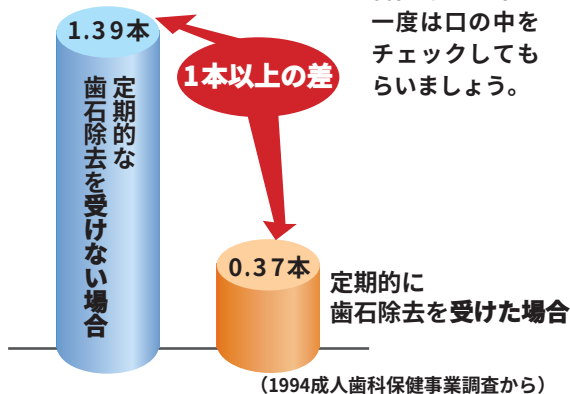
正しく磨いて歯を守ろう

歯の状態は人それぞれ。自分にあったみがき方を見つけよう。

- ・鉛筆を持つように
- ・毛先が歯と歯肉の境目にくるよう直角に
- ・小刻みに動かす。1カ所に30回くらいを目安に。10回ごとに歯ブラシをあて直す
- ・曲面、奥歯、前歯の裏側など持ち方や毛先みがきを工夫

定期的な検診と早期治療を

5年間に失った歯の数



歯周病の進行 あなたは大丈夫？

歯肉炎

歯と歯ぐきの境目の歯垢によって炎症が起こる。赤くはれるものから見た目にわからないものまで様々。中高生などの若年者に多い症状



中等度

歯ぐきが歯からはがれて歯周ポケット(溝)ができる。さらに深くなり歯石が付き、炎症が進行する



重 度

炎症により歯を支えている歯槽骨が溶けていく。歯が動き出し、かみしめると痛みがあり、冷水や熱い湯が歯にしみる



各市町村では、**40歳、50歳**の節目になる年(60歳、70歳も対象となる場合あり)に無料で検診を受けることができる制度があります。詳しくは市町村役場へ



問い合わせ
県庁健康対策課
☎073-441-2656



あなたと専門家の連携プレーが大切です。

県歯科衛生士会長 吉田 俊香さん

従来、30代を境に低年齢でむし菌、高年齢で歯周病が多かったのが、近年、低年齢で歯肉炎の発生が増えています。これは柔らかい物を多く食べる食生活からきています。歯ごたえのある物を食べるように心がけるといいですね。また、予防にはやはり歯みがきが大切です。毛先を利用してみがき残しをなくしましょう。歯ブラシだけでなく歯間ブラシやデンタルフロスなどの補助用具を使って自分で行うセルフケアとともに、歯科医院での歯石除去などの定期的なプロフェッショナルケアも大切です。



夏休み特集

紀の国野外博物館

化石・微生物・植物編

海岸の自然を探検しよう!

時 7月21～24日(3泊4日)

※21日正午にJR串本駅集合

場 潮岬青少年の家(串本町)

対 小学5年～高校生 20人

費 10,000円

(現地までの交通費は別途各自負担)

申・問 往復ハガキで住所、氏名(ふりがな)、学校名、学年、電話番号、保護者名(押印必要)を、7月7日までに県立自然博物館〒642-0001 海南市船尾370-1

※応募が定員を超えたときは抽選



県民プールのご案内

利用料金

大人 350円

子ども(16歳未満) 180円

※幼児及び小学低学年の児童は保護者の同伴が必要です

秋葉山プール☎073-444-2361

開場日 7月1日～8月31日

時 間 10:00～17:00

休場日 毎週月曜日(祝日の場合その翌日)、競技開催日(7月11・23・24日、8月6・7・10日)

河西プール☎073-452-4411

開場日 7月1日～8月31日

時 間 10:00～17:00

休場日 毎週月曜日(祝日の場合その翌日)

若年者就職支援センター(ジョブカフェわかやま)

●利用時間の延長

●新しく履歴書等の添削サービスを開始

場 和歌山市美園町5-6-12(美園商店街内)

時 月～土曜日 9:00～18:00

(祝日、年末年始を除く)

場 西牟婁振興局(田辺市)

時 毎週水曜日・金曜日 10:30～16:00

(祝日、年末年始を除く)

申・問 センター☎073-402-5757

※予約を原則としています



6月は「土砂災害防止月間」です。

「土石流」や「地すべり」、「がけ崩れ」といった土砂災害がおこる恐れのある山間部や傾斜地に家屋等がある場合は、梅雨前線や台風などによる集中豪雨に特に注意してください。危ないと感じたら、早めに安全な場所に避難しましょう。

問 県庁砂防課☎073-441-3174

ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/sabo/>

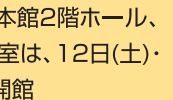


北方領土返還要求運動の標語を募集!!

申 ハガキ又はEメールで住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業を、9月30日までに北方領土問題対策協会〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町7-1上智紀尾井坂ビル

Eメール hok_tok@hoppou.go.jp

問 申込先☎03-3263-7691



統計グラフコンクール作品募集

課題 自由(小学4年生以下の児童の応募は、児童が観察又は調査した結果をグラフにしたものに限る。)

対 小学生～一般

申 B2判で、9月7日までに県統計協会事務局 〒640-8585(住所不要)県庁統計課内

問 申込先☎073-441-2385

青少年の家

北 ファミリーキャンプ「夏が来た!」

時 7月3～4日(1泊2日)

対 10家族

費 1人2,300～2,420円

申 6月26日までに会場

白 白崎ネイチャークラブ・夏

= 豊かな自然の中で 海水から塩を作ろう =

時 7月3～4日(1泊2日)

対 小学4～中学生 40人

費 3,300円

申 6月17日までに会場

白 ファミリー昆虫採集のつどい

時 7月17～18日(1泊2日)

対 15家族

費 1人1,790～2,710円+1家族2,200円

申 7月3日までに会場

ハガキ・FAXで申し込み場合

参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、希望行事名を記入してください。(電話で申込可)

※各行事ともに応募者多数の場合抽選

申込・問合先

北 = 紀北青少年の家 〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3 ☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531

白 = 白崎青少年の家 〒649-1123 由良町大引961-1 ☎0738-65-2351 FAX0738-65-2352

応援します。 農業を志すあなたを!

「豊かな自然環境の中で、大らかに自分らしく暮らす」「自然の恵みをもっとも実感できる農業をやってみたい」といった夢を持つ方々も多くなっています。

県では、農業を営む人や新しく農業を始めたい人に対して、これまでも農業改良普及センターや県農業大学校を通じ様々な支援を行ってきました。さらに今年度、御坊市に「県就農支援センター」を新たに開設し、就農相談や農業技術研修、情報発信をはじめ就農後の技術・経営など総合的な支援を行うことにより、農業を志す皆さんを一層応援します。

県就農支援センター 御坊市塩屋町南塩屋724 ☎0738-23-3488



「私たちががんばっています。」

下津町でみかん農家の若い後継者としてがんばっている杖村直樹・万裕子夫妻に話をうかがいました。

「高校生の時に家の手伝いをしていたことが、農業をはじめめるきっかけになりました。卒業後は、静岡県の果樹研究所で2年間研修したので、特に不安もなく農業に就くことができました。しかし、いざはじめてみると、繁忙期には家族だけの力では足りなかったり、自然が相手なので思ったように作業が進まないなど、難しいことがたくさんありました。そんな時、県の普及員や役場の職員の方々からアドバイスを受けながらがんばってきました。」

また、農業経営については、「農業も会社経営のように、もっと規模を大きくし、多くの人を雇用して、効率よく高品質な商品を消費者に届けことができれば…」と、熱く夢を語っていただきました。

「子どものころから花が大好きで、大阪の洋蘭店で10年間勤務しましたが、どうしても自分で園芸経営を行いたいという願望がありました。美里町は、洋蘭栽培に適した土地で、新規就農者の受入が積極的だったことから、移住を決意しました。生産まではある程度の知識があれば可能ですが、販売ルートの開拓など商品流通は自分の力だけではどうしてもうまくはいきませんでした。そんな時に、県の普及員の力をお借りしました。特に資金に関する支援は重要です。」

将来の展望・夢については、「ガーデニングブームの中、従来の花き農家のように少品種栽培というものではなく、草花だけにとどまらず消費者の要求を把握し、エクステリアなどを総合的に制作できるように、これまでの型にはまらない経営を行ってきたいです」。また、新しく農業に就く方々には、「経験と知識は不可欠です。簡単な気持ちでは困難なので、十分な研修、知識が必要とされます」と、アドバイスをいただきました。



「県就農支援センター」は、農業を志す皆さんを支援する「新規就農者育成の拠点」です。

ーこんなお手伝いをしています。ー

1 相談

就農に必要な農業情報や心構え、技術・経営についてのアドバイス

2 研修

就農に必要な技術を修得するための研修

コース1

農業体験研修 農業の実情を知り、基礎的知識を学びます。
○農業の実情 ○栽培の基礎 ○農作業体験 など

コース2

技術修得研修 就農に必要な基礎知識・技術を学びます。
○農業の実情 ○農業一般 ○現地事例 ○就農準備
○栽培管理技術(※果樹、野菜、花きから選択) ○農作業体験 など

コース3

農家実践研修 希望作物に応じた受入れ農家で、栽培管理技術や経営を学びます。
○実践的技術、経営

3 支援

農地や住宅等の紹介など円滑な就農と定着に向けてサポートするとともに、就農後の技術・経営についても支援

技術を修得したい

- 農業体験研修
- 技術修得研修
- 農家実践研修

情報が欲しい

- 地域情報
- 技術情報
- 融資情報
- など

経営を始めたい

- 地域・関係機関への紹介
- 仲間づくり
- 経営開始後のフォロー



あなたと県を結ぶホット・コミュニケーション

各振興局代表電話

有 田 ☎0737-63-4111

海 草 県庁代表と同じ

日 高 ☎0738-22-3111

那 賀 ☎0736-63-0100

西牟婁 ☎0739-22-1200

伊 都 ☎0736-34-1700

東牟婁 ☎0735-22-8551

和歌山県のホームページは <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>
県庁・県教育委員会への
郵便は 〒640-8585 (県庁専用郵便番号、住所記入不要) ○○○課あて
電話は ☎073-432-4111

おしらせ

時…期日・時間 場…場所・会場 定…定員 対…対象・資格 費…費用 申…申込・応募方法 問…問い合わせ (抽)…希望者多数の場合抽選 ※の機関・施設は県庁の敷地内にはありませんのでご注意ください

募集

ふれあい人権フェスタ2004
参加協力団体

対 12月4日(土)・5日(日)開催の「ふれあい人権フェスタ2004」及び11月11日～12月10日の「人権を考える強調月間」で実施する各種イベントへの参加協力団体

申 6月30日までに※(財)県人権啓発センター

問 申込先☎073-435-5420

障害者(児)訪問介護員(ホームヘルパー)養成研修(2級課程)

時 講義 [A組]=7月14～17日 [B組]=7月19～22日 [A・B組共通]=7月27～30日・8月1～3・5～8日 計15日間

実習 講義終了後5日間の実習あり

場 シティプラザホテル(田辺市)

対・定 すでに3級課程を修了した方で、すべての日程を受講する方 60人 (抽)

費 22,000円(テキスト代等)

申 封書で住所、氏名(ふりがな)、電話番号、生年月日、希望する組(A・Bどちらか)、3級課程修了証の写を、6月30日までに県地域介護普及センター〒646-0012田辺市神島台6-1

問 申込先☎0739-22-6589

県認定リサイクル製品

廃棄物の減量化・リサイクルの推進に役立っリサイクル製品を認定

申 所定の申請書を6月30日までに県庁循環型社会推進課へ持参

問 申込先(申請書様式等は県ホームページにも掲載)

熊野川河川愛護モニター

熊野川の良好な河川環境保全等に熱意がある方(7月～平成18年3月に、熊野川に関連した自主活動を行い、意見交換会で発表)

対 県内在住の20歳以上の方

申 所定の用紙で、6月25日までに県庁河川課

問 申込先

紀の川河川愛護モニター

河川をやさしく見守ってくださる方(7月～翌年6月の1年間、河川の状況を報告(月例、随時))

対 和歌山市、橋本市、那賀町、かつらぎ町で紀の川付近に住む20歳以上の方 (抽)

申 6月14日までに※近畿地方整備局和歌山河川国道事務所

問 申込先☎073-402-0267

水生生物による水質調査

県内河川で石に付着する生物を観察し、その種類・数から水質を調べていただける方

申 9月30日までに県庁環境管理課、県立保健所

問 申込先

「商品カタログ」掲載商品

大手量販店などに配布し、県産品の販路拡大を図る

費 商品の掲載は有料

申 6月30日までに県庁マーケティング推進課

問 申込先

「デザイン」講座

社内で作るチラシ(DM)のデザイン制作を指導

時 7月1日～8月5日の毎週木曜日 13:30～17:30(全6回)

場 県デザインセンター(海南市)

対 県内に在住・勤務の方 3人

費 30,000円

申 6月15日までに会場

問 会場☎073-483-4590

障害者パソコン「ボランティア・講習会」

①ボランティア派遣希望者

対 身体障害のある方で、自宅でパソコン操作の指導を希望する方

②ボランティア養成講座受講希望者

時 6月26・27日 10:00～15:00

対 障害のある方の自宅でパソコン操作を指導するボランティア活動希望者

③ホームページ作成講習会

時 7月4・11日 10:00～15:00

対 肢体障害者(キーボードが操作できる方)

④ホームページ作成講習会

時 7月25日、8月1日10:00～15:00

対 視覚障害者

場 (②③④共通) 県身体障害者総合福祉会館(和歌山市)

申・問 (全共通)※県身体障害者連盟 ☎073-423-2665 FAX073-428-0515

県洋上老人大学「長寿丸」

時 9月14～16日

対・定 県内在住の65歳以上(平成16年9月1日現在)で、洋上老人大学の経験を地域でいかせる方500人

費 40,000円

申 7月9日までに居住地の市町村役場

問 申込先

県青年大会参加者

勤労青年のスポーツ・文化の祭典

時 8月22日(日)・9月5日(日)

場 和歌山市周辺

対 平成16年4月1日現在35歳未満の県内在住者

費 1人1種目1,000円

申 6月25日までに※県青年団協議会☎073-433-1264

問 申込先(14:00～17:30)、県庁青少年課

中小企業のみなさんへ

新たな雇用創出等を図る様々な公共事業を、特に経営環境の厳しい中小企業に委託します

要件 以下の要件をすべて満たすこと ①常時雇用者50人未満 ②2年連続売上高が減少 ③前期の生産量(額)、販売量(額)が平成12年度又は3年前に比べ、5分の1以上減少など

申 7月末までに所定の応募票で県庁雇用推進課

問 申込先

貸金業務取扱主任者研修

①貸金業務取扱主任者研修A

対 法定研修実務編を修了し、有効期限内である方又は金融取引管理者認定研修修了者

時 9月11日(土) [1]10:00～12:30 [2]14:00～16:30のいずれか

②貸金業務取扱主任者研修B

対 研修A受講対象者以外の方

時 8月21日(土)10:00～17:00

申・問 電話で①は7月8～21日に、②は6月18～30日に※県貸金業協会☎073-433-1560

県営住宅入居者

申込用紙配布日時 7月1～20日 9:00～17:00(土・日・祝日除く)

配布場所 ※県住宅供給公社、県庁住宅環境課、各振興局建設部(海草を除く)、各所在市町村役場等

＜県住宅供給公社管内＞

問 ☎073-425-6885

千旦1～9号棟	和歌山市	2戸
栄谷		4

栄谷(視覚障害者向)		1
千旦第二		2
延時		1
ニューかわなが		1
西脇グリーン		6
三葛	和歌山市	1
楠見		2
城北		1
紀伊		2
西浜		1
和歌山東(聴覚障害者向)		1
海南あつそ	海南市	1
鴨沼2～5号棟	岩出町	1
鴨沼6～7号棟		1

＜那賀振興局建設部管内＞

問 建築課☎0736-61-0030

長山	貴志川町	4
----	------	---

＜伊都振興局建設部管内＞

問 建築課☎0736-33-4922

西ノ島	高野口町	1
笠田	かつらぎ町	1

＜有田振興局建設部管内＞

問 総務課☎0737-64-1299

青木	湯浅町	1
青木(視覚障害者向)		1
徳田	吉備町	1
和田	広川町	1
糸我	有田市	2

＜西牟婁振興局建設部管内＞

問 建築課☎0739-26-7922

内之浦		2
西跡之浦	田辺市	3
中芳養		1
日置	日置川町	3
椿	白浜町	2

＜東牟婁振興局申本建設部管内＞

問 総務管理課☎0735-62-0755

出雲	串本町	2
----	-----	---

＜東牟婁振興局新宮建設部管内＞

問 総務課☎0735-21-9623

佐野	新宮市	2
----	-----	---

試験

県立陵雲高校(通信制課程)への転入学・編入学

高校卒業資格取得コース

申 事前面接を6月7日～7月9日に陵雲高校(事前面接は要予約)

問 申込先☎073-422-8402

火薬類取扱保安責任者、火薬類丙種製造保安責任者

時 8月22日(日)13:00～

場 県民文化会館(和歌山市)

願書配布 県庁消防保安課、各振興局地域行政課、県火薬類保安協会

申 6月22日～7月1日に※全国火薬類保安協会和歌山県試験事務所

問 申込先☎073-432-7710

消防設備士

種類 甲種、乙種

時 8月22日(日)9:00～

願書配布 消防試験研究センター県支部(和歌山市)、各振興局地域行政課、県庁消防保安課、各消防本部

申 7月5～8日に※消防試験研究センター県支部

問 申込先☎073-425-3369

介護支援専門員実務研修受講

時 10月24日(日)10:00～

場 紀北会場＝県立和歌山北高校(和歌山市)、紀南会場＝県立田辺工業高校(田辺市)

受験手引配布 7月5日から県庁長寿社会推進課、各振興局健康推進課、各市町村役場

申 8月2～19日に県庁長寿社会

推進課

問 申込先

毒物劇物取扱者

時 8月2日(月)

場 ①県民文化会館(和歌山市) ②西牟婁総合庁舎(田辺市)

試験種別 一般、農業用品目、特定品目

申 6月7～18日までに住所地を管轄する県立保健所(和歌山市在住者は県庁業務課)

問 申込先

改良普及員資格

時 10月6～7日の2日間

場 県民文化会館(和歌山市)

申 願書等を6月21日～7月5日に県庁就農促進課

問 申込先

融資

新ふるさと創りパイロット地域支援補助金

県内で地域資源等をいかし、都市との交流や定住促進など地域の活性化に取り組む住民組織に対する支援

補助率 対象経費の2分の1以内

補助限度額 3年間で1団体あたり150万円

申 所定の用紙で6月1～30日に県庁新ふるさと推進課

問 申込先

自立支援給付金

母子家庭の母が就職に必要な又は有利となる資格の取得費用の一部を給付

対 母子家庭の母(事前相談必要、所得等条件あり)

種別 ①自立支援教育訓練給付給付対象講座の受講費用の4割(上限20万円) ②高等技能訓練促進費給付 看護学校等での修業期間の最後の3分の1(上限12カ月)について、月額10万3千円以内

申・問 各振興局健康推進課

6月は環境月間です。

生活の中で、環境との関わりについて考えてみませんか。

(和歌山県の環境保全キャラクター「エコリン」)



6月

1火

2水

3木

4金

5土

6日

7月

8火

9水

10木

11金

12土

13日

14月

15火

16水

17木

18金

19土

20日

21月

22火

23水

24木

25金

26土

27日

28月

29火

30水

7月

1木

2金

3土

4日

5月

6火

7水

8木

9金

10土

11日

12月

13火

14水

15木

16金

17土

18日

19月

20火

21水

22木

23金

24土

25日

26月

27火

28水

29木

30金

31土



看護関係進路相談会

時・場 和歌山会場＝7月10日(土) 13:30～15:30 県民文化会館(和歌山市)
田辺会場＝6月26日(土)13:30～15:30 市民総合センター(田辺市)
対 看護師等学校養成所への進学希望者や看護に関心のある高校生等
問 県庁医務課

木造戸建住宅の耐震診断

無料で耐震診断士を派遣し、耐震改修工事費用の一部を補助
※悪質な訪問勧誘が増加しています。診断士の認定証を必ず確認してください。
対 昭和56年5月31日以前に建築された木造軸組工法の住宅等
問 各市町村役場

認可外保育施設の届出

認可外保育施設を新設又はすでに設置している事業者で、乳幼児を6人以上保育する場合(和歌山市の方は市役所へ)は県への届出が必要です。
問 県庁幼保・少子化対策推進室

建築物等実態調査へのご協力を

住宅・建築行政等の基礎資料を得るため、6月10～30日に国が

調査します。調査員が訪問した際にはご協力ください。
問 県庁都市政策課

県有地の売却

一般競争入札により下記の土地を売却します。
申 6月1～25日に県庁管財課
問 申込先

番号	所在地	地目	地積(m ²)
1	和歌山市府中 字東畑1011番26	宅地	316.47
2	高野口町大字名古曾 字上ノ段776番2	宅地	151.40
3	古座町西向字後の背戸 380番3	宅地	187.29
4 (2筆を併せて1件)	古座川町高池 字宮之上ミ413番1 古座川町高池 字宮之上ミ413番6	宅地 雑種地	440.48 13.00

メジロの捕獲許可・飼養登録

愛がん飼養目的に捕獲できる鳥は、メジロのみで、飼養できるのは1世帯1羽です。
問 捕獲許可＝各振興局林務課
飼養登録＝各市町村役場

なくそう不法滞在・不法就労

外国人を雇用するときは、必ずパスポートや就労資格証明書等で在留資格と期間を確認してく

ださい。不法就労者を雇用した場合は法律で処罰されます。
問 最寄りの警察署

雇用管理説明会

セクシュアルハラスメント防止対策の認識を深める。
時 6月24日(木)13:30～15:30
場 アバローム紀の国(和歌山市)
対 企業の人事労務担当者等
問 県庁労働企画課、※和歌山労働局 ☎073-421-6157

きのくに学習メニューブック

公開講座など学びたい人の学習活動を支援する「きのくに県民カレッジ」の講座案内を配布中
問 県庁生涯学習課、県立図書館文化情報センター ☎073-436-9530

最新の医療カンファランス(講演)

「胃がんはどんな病気」
時 7月8日(木)15:00～17:00
場 県立医科大学 生涯研修・地域医療センター(和歌山市)
問 会場 ☎073-441-0789

日本神経学会市民公開講座

「神経内科30年の歩み」
金澤一郎氏(日本神経学会理事長)
時 6月26日(土)13:00～15:00
場 県民文化会館(和歌山市)

問 県立医科大学神経内科
☎073-441-0655

日本産科婦人科学会市民公開講座

「女性のための健康講座」
時 6月26日(土)14:00～16:00
場 県立医科大学講堂(和歌山市)
申 ハガキ又はFAXで住所、氏名、年齢を、6月20日までに県立医科大学産科婦人科学教室 〒641-8510和歌山市紀三井寺 811-1 FAX073-445-1161
問 申込先 ☎073-445-1161

医師臨床研修合同説明会

県内病院で臨床研修を希望する医学生やその家族の方を対象に説明会を開催
時 6月19日(土)13:30
場 県民文化会館(和歌山市)
問 県庁医務課

児童手当の手続きをお忘れなく

現在手当を受けている方は、6月30日までに現況届を住所地の市町村役場に提出してください。
問 各市町村役場、県庁子育て推進課

県土地開発公社の宅地分譲

①岩出紀泉台(岩出町)17区画
②貴志川長山団地(貴志川町)5区画
③新宮蜂伏団地(新宮市)57区画
申・問 ①②は※県土地開発公社

☎073-448-1832
③は県土地開発公社新宮駐在
☎0735-31-5460

教科書展示会

教科書への理解を深め、関心を高める。
時 6月18日(県立図書館は6月19日から)～7月1日(県立図書館、伊都・有田地方は7月2日まで)
場 和歌山市＝県立図書館・和歌山市立教育研究所、海草地方＝黒江小学校・美里町文化センター、那賀地方＝粉河ふるさとセンター・貴志川町生涯学習センター、伊都地方＝伊都振興局・高野山中学校、有田地方＝湯浅町立図書館・清水町コミュニティセンター、日高地方＝御坊小学校・南部町生涯学習センター、西牟婁地方＝田辺市民総合センター・串本町文化センター、東牟婁地方＝東牟婁地方教育事務所・那智勝浦町教育センター
問 各地方教育事務所、和歌山市教育委員会、県教育委員会小中学校課

まぜればゴミ、分ければ資源ー建設リサイクルを推進しよう！ー

一定規模以上の建設工事を行う場合、着工7日前までに建設リサイクル法による届出が必要です。
問 県庁技術調査課

人権連載



まずは正しい理解から

ハンセン病とは

ハンセン病は「らい菌」の感染で発病する感染症です。手足の運動まひを起し皮膚が侵される病気で、その後遺症や国の隔離政策によって「怖い病気」として社会に定着したことから偏見や差別を受けてきたという歴史があります。

近年、研究により発病の過程や細菌自体の特徴が判明してきました。感染力は極めて弱く、たとえ感染しても発病までには長い時間を必要とし、また、多くの人は発病せずに生涯を終えることが分かっています。

ここ数年、国内では年間数名の患者が発生していますが、これは過去の感染により後年に発病したと考えられています。現在、日本では衛生環境や栄養に恵まれ、早期治療の実施や未治療患者がいないことなどから新たな感染の心配はありません。

問い合わせ先 県庁健康対策課

ハンセン病を正しく理解する週間(6/20～26)

偏見や差別をなくすために

ハンセン病というだけで社会との隔離政策を行ってきた「らい予防法」が、平成8年に廃止されました。平成13年には、国はこの誤りを認め、元患者に謝罪しています。

しかし、誤解に基づいた偏見や差別が未だに残っています。療養所入所者の一人は「本当に怖いのは、らい菌ではなく、私たちの苦悩から目をそらして見ようとしないう社会なんです」と言っています。

そうした現実があるため、元患者は未だに気軽に故郷に戻れずに療養所で暮らしているのが実態です。そのため、県では国立療養所で暮らす和歌山県出身の元患者に、ふるさとの言葉や景色に触れ、その移り変わりを感じてもらうと、今年も5月に里帰りをしてもらいました。

病気にかかったことで差別されることがあってはなりません。偏見や差別をなくすために私たち一人ひとりが、ハンセン病の歴史を知り、病気を正しく理解していくことが大切です。



県政ポスト

みなさんが日頃県政に望まれていることや様々なアイデア、ご意見・ご質問などをお気軽にお寄せください。できる限り施策に取り入れさせていただきます。

知事と親しメール(Eメール)
ホームページ
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/chiji/mail/index.html>

知事への手紙(郵便又はFAX)
〒640-8585(県庁専用、住所記載不要)和歌山県広報室「県政ポスト」係
FAX 073-441-2020

●お寄せいただいた提案等の件数(平成15年度)

	Eメール	手紙・はがき	FAX	計
県内	376	49	4	429
県外	177	25	12	214
計	553	74	16	643

●みなさんからの声を施策に取り入れた事例

過疎地域において、通信事業者がADSL(電話回線を利用した高速情報伝送技術)提供等を行えるよう町村と連携した支援制度に取り組みました。これにより、平成15年度に龍神村・上富田町・大塔村・中辺路町の一部地域が新たに加わり、平成16年4月現在で、県内50市町村のうち46市町村(一部地域を除く)で高速インターネットサービスが利用可能となりました。

問い合わせ先 県庁広報室



不動産取得税のおしらせ

土地や家屋の購入、交換、贈与、家屋の建築などにより、不動産の所有権を取得した方に一度だけ課税されます。なお、住宅を建てるために土地を購入した場合の税額の軽減制度などがありますのでお問い合わせください。
問 各振興局税務課(海草は不動産取得税課)

催し

県立近代美術館 ☎073-436-8690
休館／月曜(祝日の場合翌日)

■特別企画展「小野竹喬展」 6月5日(土)～7月11日(日)

県立博物館 ☎073-436-8670
休館／月曜(祝日の場合翌日)

■特別展「きのくにの歴史と文化」第2期 宗教文化の諸相
6月5日(土)～7月4日(日)

■講座「宗教文化に見る地域史—日置川町の事例から—」
6月20日(日) 13:30～14:30

県立紀伊風土記の丘 ☎073-471-6123
休館／月曜(祝日の場合翌日)

■速報展「紀州の歩み」 7月1日(木)～9月23日(木)

■ふどき講座「入門・民俗学(1)―田辺の夏祭り―」
6月5日(土) 13:00～14:30

定 40人(当日受付)

片男波公園万葉館 ☎073-446-5553
休館／月曜(祝日の場合翌日)

■徳田直季 写真展
「君からの手紙を受け取って。part 1」

6月2日(水)～8月4日(水)

県植物公園緑花センター ☎0736-62-4029
休園／火曜(祝日の場合翌日)

■花の水彩画教室～初心者コース～ ※事前申込必要

・花のスケッチ 6月20日(日)

・着色から仕上げ 6月27日(日)

■展示会
古典植物展6/12・13、7/11、野生ラン展6/19・20、
寒・春らん新芽展7/3・4、水彩画教室展7/3～21

県動物愛護センター ☎073-489-6500
休館／火曜

■いぬ・ねこ譲渡講習会
6月27日(日)、7月9日(金) 14:00～

※申込不要、講習を受けなければ譲渡できません

■譲渡犬のしつけ方教室 センターの譲渡犬

第2土曜・日曜日 13:00～14:30

申 開催1週間前まで 先着10組

■犬のしつけ方教室 ※要問い合わせ

場 ①三石中央公園(橋本市)、②吉備ドーム前(吉備町)、
③県動物愛護センター

県公館 一般公開 ☎073-441-2214
問 県庁管財課

6月27日(日)、7月11日(日) 10:00～16:00

バス停「不老橋」下車徒歩1分

※駐車場はありません。

お気軽にどうぞ

交通事故相談 ☎073-441-2359

【常設相談】月～金曜日 場所／県庁交通事故相談所、東牟婁振興局(水曜日を除く☎0735-22-8551)

【弁護士による相談】電話予約必要 ●県庁交通事故相談所
6月28日(月)、7月5日(月) 受付／13:00～14:00

●東牟婁振興局 6月18日(金)、7月2日(金) 受付／正午まで

【巡回相談】西牟婁振興局 7月14日(水) 受付／11:00～15:00

県民相談 ☎073-441-2356

【常設相談】月～金曜日 場所／県庁県民相談室

【弁護士による相談】県庁県民相談室 ※先着各20人

●6月29日(火)<☎予約6/21～> ●7月9日(金)<☎予約6/30～> ●7月20日(火)<☎予約7/12～>

【移動相談】●7月6日(火) 伊都振興局<☎予約6/22～伊都振興局0736-33-4900> ●7月15日(木) 本宮町・山村開発センター<☎予約7/1～東牟婁振興局0735-21-9605> ●7月27日(火) 日高町・中央公民館<☎予約7/13～日高振興局0738-24-2904>

※各先着10人(予約開始日に注意)

高齢者相談 ☎073-435-5212

【常設相談】月～金曜日

【専門相談】※日時はお問い合わせください

【弁護士による相談】6月18日(金) ※電話予約必要

場所／県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階)

医療安全相談 ☎073-441-2611

【常設相談】月～金曜日 場所／県庁医務課

※各県立保健所(支所)総務課でも実施しています

【弁護士による相談】6月17日(木)・30日(水) 13:00～17:00 場所／県庁医務課 ※事前予約必要

電話番号はおかけ間違いのないよう、お確かめください。

小泉首相が来県!

中辺路町 本宮町
南部川村

穏やかな晴天に恵まれた4月29日みどりの日、小泉首相が紀南地方を訪れました。白浜空港に到着後、中辺路町の環境林の整備作業現場を訪れ、Iターンの就業者に気さくに質問するなど緑の雇用の現状を視察。本宮町の熊野本宮大社では、世界遺産への登録が見込まれる熊野古道の話を興味深く聞き入っていました。また、南部川村では梅畑のまだ青い南高梅に感心したり梅干しを試食したりして、関西空港から帰路につきました。短時間ではありましたが、県の現状を知ってもらうよい機会になりました。



投票日前でも、直接投票箱に投票できる「期日前投票制度」がはじまっています。

お住まいの市町村選挙管理委員会での不在者投票制度が期日前投票制度にかわりました。期間・時間は次のとおりです。

期間 公示又は告示日の翌日から投票日の前日までの間

時間 午前8時30分から午後8時まで(従来の不在者投票と同じです。)

問 市町村の選挙管理委員会

観光情報を海外に発信中!

英語、韓国語、中国語(繁体字)をリニューアル、中国語(簡体字)を新たに追加しました。

ホームページ

<http://wiwi.co.jp/kanko>



11月開催 全国マルチメディア祭 2004 in わかやま

標語とシンボルマークが決定!

「標語」
つながる ひろがる ひと 未来
～私から わかやまから～

「シンボルマーク」



問 県庁情報政策課

和歌山県観光キャンペーンスタッフ 決定!

～初の男性キャンペーンスタッフ誕生～

県内外で和歌山のPRイベントなどのお手伝いをしますので、皆さんも応援してください。

(左から) 寶崎範子さん、田中真理子さん、中川明子さん、池崎有紀さん、山口真衣子さん、富士利郎さん



県政広報番組のお知らせ

県の施策や地域の話題を特集

テレビ
テレビ和歌山(WTV)

きのくに21 日曜日 9:30、(再)22:00



ラジオ
和歌山放送(WBS)

県民マイク 土曜日 14:30



わかやま
北南
news



日高港(御坊市塩屋地区)
供用開始

うめ研究所がオープン

南部川村

南部川村に県農林水産総合技術センター果樹試験場うめ研究所が4月にオープンしました。日本一の梅の里であるこの地方で問題となっている生育不良の原因究明と安定生産のための技術開発を行っていきます。温室5棟、研究棟3棟、ほ場3haを有しており、既に日照・温度・土質・水分量の条件を変えての生育比較など本格的な研究が始まっています。今後は地域に密着した梅産業の発展を支える研究機関として、消費者ニーズにあった品種改良なども積極的に行っていきます。



県男女共生社会推進センター

りいぶる

「ライフプラン講座」

時・場 和歌山会場＝7月24日(土) りいぶる

御坊会場＝7月31日(土) 日高振興局別館(御坊市)
(※内容、講師は各会場共通)

①10:00～12:00「楽しみながらマネープラン」
垣 由起 氏(ファイナンシャルプランナー)

②13:00～15:00「どんな働き方が好き？」
楠本喜久枝 氏(21世紀職業財団雇用管理アドバイザー)

③15:10～17:00「わたしが決める 明日からの
ライフプラン」榎村久子 氏(京都女子大学教授)

定 各会場30人(先着順)

申 電話、FAX、Eメールで住所、氏名、年齢、
電話番号、講座名を7月13日までにりいぶる
※一時保育あり(事前申込必要)

～あなたの企画を待っています～

男女共同参画を推進するための講座の企画を募集

テーマ ①家族 ②介護、子育て ③仕事と家庭の両立
④地域のネットワークづくり ⑤その他 ※講座
実施会場 りいぶる研修室(81席)

申 所定の様式でりいぶる(随時受付)

申・問

県男女共生社会推進センター「りいぶる」

〒640-8319和歌山市手平2-1-2

和歌山ビッグ愛9階

☎073-435-5245 FAX073-435-5247

Eメール e0315012@pref.wakayama.lg.jp